

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	ヴェロスクロノス都農	A	● 0 - 9	九州リーグ初参入、開幕戦 難しい試合になることは予想できていましたが、想像以上の力の差を感じる結果となりました。個の質や、組織としての連動、その全てをクオリティを維持した上で強度高く連続して行うこと。 今日感じたこと全てを基準にして取り組んでいきたい。最後に、高いレベル、素晴らしい環境でプレーできることに感謝しています。
2	FC延岡AGATA	H	● 0 - 6	明日はこの環境に相応しいマインドとプレーで勝利を目指したいと思います。 第2節、FC延岡AGATAさんとのゲーム 前日と同様、とてもタフで厳しいゲームになりました。開幕戦から2試合を終え感じたこの感情、ピッチ内で起きた現象ひとつひとつをどう受け止めてどう成長に繋げるか。簡単な道ではないがチーム一丸となってチャレンジしていきたい。
3	九州総合スポーツカレッジ	H	○ 4 - 1	3節、九州総合スポーツカレッジさんとのゲーム。ホーム開幕戦ということもあり、前半立ち上がりから選手たちは気持ちの入ったプレーを見せてくれました。 課題も多く残るゲームでしたが、なによりもホーム開幕戦、九州リーグ初勝利という結果を応援に来て頂いたたくさんの地元の方々にお見せできたことは良かったと思います。 次節もホーム開催となるので2連勝目指して準備します。
4	川副クラブ	H	● 0 - 1	川副クラブさんをホームに迎えた第4節。やることははっきりしていて球際も厳しく来る相手に対し、ボール保持において弱気になってしまった。 優れた相手にこそ勇気を持ってプレーしなければいけないが今回はそれができなかった。悔しい敗戦となったが、まだリーグは始まったばかり。次の試合に向け準備をしていきたい。 川副クラブさん、ありがとうございました。
5	日本製鉄大分	A	● 1 - 5	日本製鉄大分サッカー部さんとのゲーム。 所々いい攻撃の形は出せましたが、プレーひとつひとつの判断や技術的なミスが重なり失点に繋がってしまいました。 難しいゲームが続いていますが、次のゲームに向け気持ちを切り替えトレーニングを行いたいと思います。 日本製鉄大分サッカー部さん、ありがとうございました。
6	KMGホールディングスFC	H	○ 2 - 0	KMGホールディングスFCさんとのゲーム。 ホーム戦ということもあり絶対に負けられないという強い想いを持って臨んだゲームでしたが、相手の強度の高い守備と、個々のストロングポイントを活かした勢いのある攻撃でチャンスを作られるなど非常に難しいゲームとなりました。 気温も高くフィジカル的に厳しい中で、選手達が最後までゴールに執着しファイトしてくれたことが勝利に繋がったと思います。 また次のゲームも3ポイント持って帰れるようにトレーニングから頑張っていきたいと思います。 最後になりましたが、KMGホールディングスFCの皆様、審判団、運営に携わって下さった皆様、会場に足を運んで応援をして下さった皆様、本当にありがとうございました。
7	Brew KASHIMA	A	● 0 - 1	アウェイでBrew KASHIMAさんとのゲーム。 前半何度かいい形でボールを動かすことができましたが、その中で決定的なシーンを作るところまで行くことができませんでした。 その後は相手に流れを持って行かれてしまい、後半開始早々1番気をつけなければいけない時間帯に少しの気の緩みから失点を許してしまいました。 今日に限らず今後は更に気温も上がりフィジカル的にもきつくなってきます。ボールの保持と非保持それぞれのアイディアと質を求めてトレーニングに取り組んでいきたいと思ひます。 最後に、Brew KASHIMAの皆様、審判団、運営をして頂いた皆様、会場に足を運んで応援をして下さった皆様、本当にありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
8	NIFS KANOYA FC	H	● 0 - 2	<p>第8節NIFS KANOYA FCさんとの試合。 お互いに鹿児島県勢ということで負けられない戦いでしたが、相手の堅守を崩すことが出来ずPKを与えてしまい、最後までゲームをコントロールする事ができず敗戦してしまいました。</p> <p>第9節ジェイリースFCさんと試合。圧倒的な力の差を感じ、序盤での失点に続き、我慢の続くゲームとなりました。やはりチームとしての一体感、個々の能力、全てが勉強となりました。</p>
9	ジェイリースFC	A	● 0 - 5	<p>この2日間の敗北は厳しいものでしたが、それを乗り越えるために必要な反省点や学びがたくさんありました。</p> <p>負けはつらいものですが、こういう時だからこそチームとしての団結と協力が重要であり、困難な時こそ結束を強め次の試合ではチーム全体の力を発揮し、勝利を目指します。</p> <p>最後に、NIFSKANOYA FC・ジェイリースFCの皆様、審判団、運営をして頂いた皆様、会場に足を運んで応援をして下さった皆様、本当にありがとうございました。</p>
10	ヴェロスクロノス都農	H	● 0 - 5	<p>ヴェロスクロノス都農さんとのゲーム。 上位チームとの対戦ということもあり、特に守備面でプランを持って臨みましたが、厳しい結果となってしまいました。</p> <p>ただ次に繋がるポジティブな収穫もあったので、それを踏まえ明日の試合に向け準備をしたいと思います。</p> <p>運営して下さいだったジェイリースの皆様、サッカー協会の皆様、遠方にも関わらず応援に足を運んで下さった方々本当にありがとうございました。</p>
11	FC延岡AGATA	A	● 1 - 4	<p>FC延岡AGATAさんとのゲーム。 難しいゲームになることを事前に受け入れ、その上で守備から攻撃へとチャレンジしましたが、AGATAさんの狙いを持った連動と連続性のある攻撃に耐え続けることができませんでした。2連戦で勝点を奪うことはできませんでしたが、選手たちは戦う気持ちと成長への意欲を持って最後まで走ってくれました。</p> <p>次節では勝ちを掴めるよう準備していきたいと思います。</p> <p>昨日に引き続き運営をして下さったジェイリースの皆様、サッカー協会の皆様、遠方まで応援に来てくださった皆様ありがとうございました。</p>
12	九州総合スポーツカレッジ	A	○ 3 - 0	<p>12節はアウェイで九州総合スポーツカレッジさんとのゲームでした。 試合開始早々から、自陣エリアで堅い守備ブロックを形成し守る相手に攻撃のアイデアを共有できない時間が続く中で、ブロックの外からのクロスボールで先制することができ、その後は焦らずゲームを進めることができました。</p> <p>勝ち点が奪えていなかったアウェイでのゲーム、気温が高くフィジカル的に厳しかったゲームで3ポイントを持ち帰ることができ、非常に嬉しく思います。</p> <p>まだまだ課題は山積みですが、ひとつひとつトレーニングで改善していきたいです。</p> <p>今回運営をして下さった九州総合スポーツカレッジの皆様、サッカー協会の皆様、遠方まで応援に来てくださった皆様ありがとうございました。</p> <p>まだリーグ戦は続きますので応援宜しくお願いたします。</p>
13	川副クラブ	A	● 0 - 2	<p>13節、川副クラブさんとのゲーム。 相手の強度の高いハイプレスからミス誘発され失点、後半にはリスタートの素早い切り替えから失点してしまい痛い敗戦となってしまいました。</p> <p>勝利を掴む上で重要な戦う姿勢、情熱という点において川副クラブさんから学ぶことが多いゲームでした。気持ちを切り替え残り5試合、残留するために全力で戦います。</p> <p>雨の中遠方まで応援に来てくださった皆さま、運営をして頂いた川副クラブの皆さまありがとうございました。</p>
14	日本製鉄大分	H	△ 1 - 1	<p>14節は日本製鉄大分サッカー部さんとのゲーム。 残留に向け負けられないゲームでしたが、前半に自分たちの不用意なミスから失点してしまったことでメンタル、ゲームプラン共にコントロールが難しい状況をつくってしまいました。ただ、失点した後に選手たちがネガティブにならずチャレンジしてくれたことに関しては、前節からの成長を感じることができ、それが後半の同点弾に繋がったと思います。</p> <p>結果はドローに終わりましたが、まだ残留の可能性は残されています。次節以降もチーム一丸となり勝利を目指して戦いたいと思います。</p> <p>最後になりますが、日本製鉄大分サッカー部の皆様、運営をお手伝い頂いた鹿児島工業サッカー部の皆様、応援に駆けつけて下さった皆様本当にありがとうございました。</p>

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
15	KMGホルディングスFC	A	● 0 - 3	<p>15節のKMG FCさんとのゲームは、前節に続きまた自分たちのミスから失点を許し、後半にも相手のリスタートから直接ロングシュートを決められてしまい結果得点を奪えないまま痛い敗戦となってしまいました。</p> <p>ここ数試合で自分たちのミスからの失点が続いているので、次の試合まで短い時間ですが改善に取り組んでいきたいと思ひます。</p> <p>KMG FCの皆様、審判団、サッカー協会の皆様、暑い中ありがとうございました。</p>
16	Brew KASHIMA	H	△ 1 - 1	<p>16節はBrew KASHIMAさんとのゲームでした。ホーム最終戦ということもあり、必ず勝ち点3を取ろうと意気込み臨んだゲームでしたが、結果はドローに終わってしまいました。暑さも影響もあり、ボールの保持非保持の両方において準備が遅かったこと、決定機で決め切れない決定力不足が勝ち切れなかった要因だと感じています。</p> <p>リーグ戦も残すところ2試合となりました。1ポイントでも多く勝ち点を積み上げて終われるように、チーム一丸となって正しい準備をしたいと思ひます。</p> <p>最後に、Brew KASHIMAの皆様、審判団の皆様、サッカー協会の皆様、運営に協力して頂いた鹿児島工業の皆様、そして応援に駆けつけてくれた皆様、暑い中本当にありがとうございました。</p>
17	NIFS KANOYA FC	A	● 1 - 4	<p>17節 NIFS KANOYA FCさんとのゲーム。</p> <p>相手が大学生で90分通して走り勝つの難しいとわかっていたので、我慢するところと瞬間的に優位性をつくるころのメリハリをテーマに望みましたが敗戦という結果に終わりました。連戦で疲れもありますが、明日もチーム一丸となって頑張りたいと思ひます。</p> <p>運営を下さった皆様、協会の皆様、応援に駆けつけて下さった皆様ありがとうございました。</p>
18	ジェイリースFC	H	● 1 - 5	<p>18節ジェイリースFCさんとのゲーム。</p> <p>相手が上位チームということもあり、組織的で粘り強い守備からいい流れをつくりたかったのですが、各局面でのアイデア、クオリティ、連続性や連動性全てにおいてレベルが高い相手チームに翻弄される展開になってしまいました。</p> <p>全日程が終わり、チームは残留をかけた入れ替え戦を戦うこととなります。</p> <p>昇格1年目でとても難しいシーズンとなりましたが、来年もまた九州リーグで戦えるようチーム一丸となって準備していきたいと思ひます。</p> <p>最後になりますが、どんな結果でも毎試合変わらず応援を下さった地域や企業の皆様方本当に本当にありがとうございました。</p>